

### 品番 NNN88000

・電源ユニットの取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

#### 施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

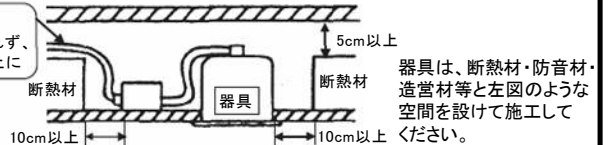
## 安全に関するご注意

### ⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。火災の原因となります。
- ・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



電源線は本体に触れず、断熱材の上に



### ⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実にを行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 電源ユニットの改造は絶対に行わない。火災・感電・落下の原因となります。
- 必ず専用の灯具と組合せる。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源ユニットは、横転・逆転しないように設置する。設備が不完全な場合、火災の原因となります。
- 壁付けや天井付けはしない。火災・感電の原因となります。

### ⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、可燃性ガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は、5℃～35℃で使用する。指定外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。

### 各部のなまえと取付け方

#### 1. 取付前の確認

- ・電源ユニットの質量(0.3kg)に十分耐えるような取付部の強度を確保してください。不備があると落下の原因となります。

#### 2. 埋め込み穴を開ける

- LED電源ユニットを設置する際の埋め込み穴に関しては、灯具により異なります。詳しくは専用灯具の取扱説明書を参照ください。

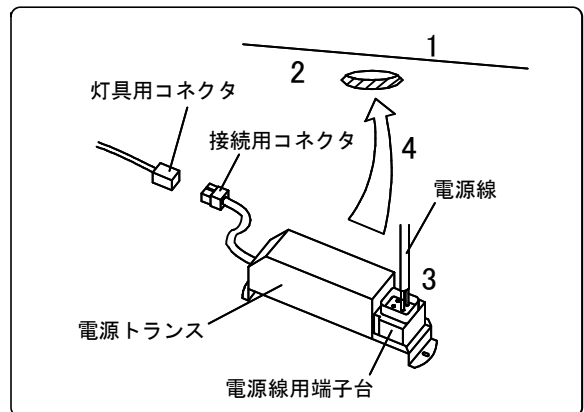
#### 3. 電源線を端子台の電源線差し込み穴に接続する。

- ・電源線は差し込み穴に確実に差し込んでください。
- ・挿入後、引張って抜けないことを確認してください。
- ・端子台の送り容量は20Aです。接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

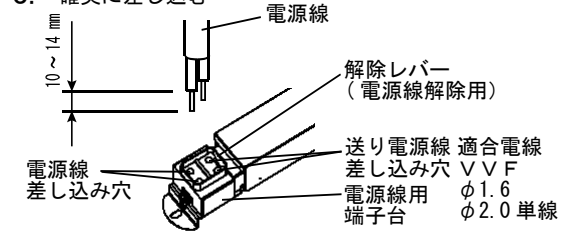
#### 4. 天井内で横転・逆転しないように設置する。設置が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

#### 5. 接続用コネクタを灯具用コネクタに確実に差し込み接続する。

- ・電源ユニットに通電した状態でコネクタを接続しないでください。灯具故障の原因となります。
- ・誤って電源ユニットに通電した状態で灯具を接続すると点灯しません。その場合は、一度電源を切ってしばらくしてから再度投入してください。
- ・接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



#### 3. 確実に差し込む



・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 電源ユニットの改造は絶対に行わない。火災・感電・落下の原因となります。
- 万が一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない。火災・感電の原因となります。速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。

### 注意

- お手入れの際は必ず電源を切って、しばらくしてから行なう。感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店の専門家による点検をお受けください。  
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

### 保証について

- 保証期間について  
この商品の保証期間は3年間です。
- 保証書について  
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品について  
弊社はこの電源ユニットの補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しております。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

### お手入れ 注意 必ず電源を切ってください。感電・火災の原因となります。

#### 〈清掃について〉

- ・汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。  
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・接続用コネクタを抜かないでください。灯具故障の原因となります。